

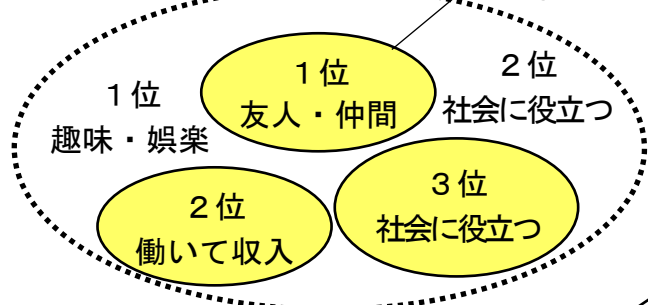
■ 高齢者アンケート調査結果のまとめ

§ 1 生きがい意識

○72%が生きがいを感じている

○「趣味」(51%)、「夫婦・家族との団らん」(43%)、「仕事」(37%)のときに生きがいを感じている。

○大切にしていること



《参考：内閣府調査 (H26)》*
 ・多少とも生きがいを感じている60歳以上の高齢者は65.5%。生きがいは低下傾向にある。

§ 2 健康管理と外出頻度

○健康管理

○健康状態が「悪い」人は5%程度。「良い」+「普通」で94%程度

○6割の人が悩みごとがあり、その内容は①健康、②お金、③家族のことである

○7割の人が健康維持の取り組みを行っている

○高齢者とする年齢は、「75歳以上」が1/3強、「70歳以上」が1/3弱で、一般的な高齢者の定義より5~10歳年長である。

《参考：内閣府調査 (H26)》*
 ・外出頻度が高いほど、生きがいを感じているとする割合が高い (正の相関関係がある)

○時間・外出頻度

・9割以上の人、多少もしくは十分な自由に使える時間がある

・週2、3日以上~毎日外出する人は9割以上

§ 3 社会参加と就労

《社会参加》

○社会活動参加経験は、①仕事、②趣味・習い事が多い。

○これらに参加してよかったこととして
 ①新しい友人ができた (41%)
 ②生活に充実感が生まれた (34%)
 ③健康・体力に自信がついた (24%)
 となっている

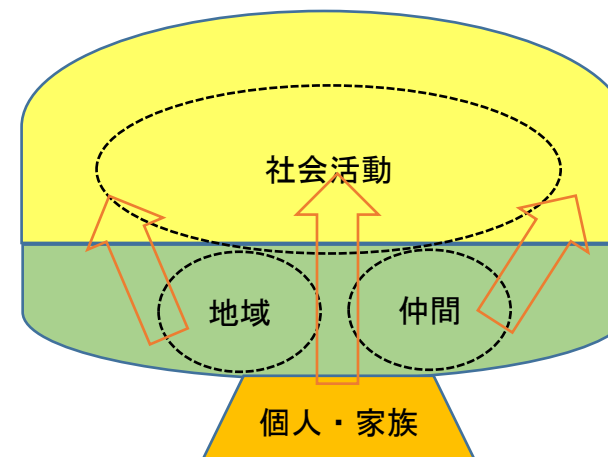
○地域にあるとよいものとしては、
 ①趣味・会話のサロン、
 ②会食や喫茶ができる場、
 ③介護予防 などとなっている。

《就労》

○現在7割以上の人働いており、「いつまでも」働きたいと過半の人が回答している。

○社会活動で、未経験かつ参加したい活動については、
 ①高齢者支援 (31%)
 ②ボランティア (29%)
 ③子育て支援 (25%)
 の順となっている

○社会参加の阻害要因としては、①情報がない、②活動や団体を案内してくれる人がいない、③交通費や参加費となっている。



○回答からは、「個人や家族」(健康・お金)の基盤を維持しながら、「地域」(近隣)や趣味の「仲間」などが重視されている
 ○その外延に「社会(活動)」を視座に入れている
 ○したがって、政策的には、「社会参加」を強調するよりも、「地域」「仲間」のキーワードを重視する方が効果的かもしれない。

*内閣府調査 (H26) : 「高齢者の日常生活に関する意識調査」